



「まちづくり提言書」の概要(骨子)

この提言書は、町民の皆さんに「総合計画基本構想へ皆さんの声を」という町の呼びかけ（委員の公募）対し、自主的・積極的に参加した方々による会議「まちづくりワークショップ」が約2カ月間、全7回の討議を行い、取りまとめたものです。今回、その概要をお知らせします。



▲「まちづくり提言書を町長に提出しました」

I まちづくりの方向性 (目指すべき姿)

南三陸町には、海・山に代表される豊かな自然環境があり、長い歴史の中で私たちはこの自然の恩恵を受けながら暮らしてきました。水産業や農林業をはじめ、私たちの暮らしやなりわいは常にこの自然を背景として、循環・つながりの関係の中で営まれてきました。

まちづくりの原点は、町民にとって住みよい地域を創り・守ることです。地域での暮らしを楽しむ・愛することがまちづくりの原動力となり、それがおのずと自信・誇りにつながり、外に向ってもその魅力が浸透していくものと考えます。そこで、これからの南三陸町のまちづくりの方向性、目指すべき姿を、「自然・ひと・なりわいが紡ぐ心豊かな暮らし・誇れる地域」としました。

II まちづくりの将来方向 (まちづくりの柱)

南三陸町が目指すべき姿を実現するためのまちづくりの柱を次のとおりとしました。



町の将来を話し合うまちづくりワークショップのみなさん

- 1 住民一人ひとりが共に汗を流し、協働の取り組みで創り上げるまちづくり
- 2 自らの暮らしの安心・安全を支える土台の整ったまちづくり
- 3 豊富な資源の「循環」・「繋がり」による南三陸「らしさ」が息づくまちづくり
- 4 心が通い合った「支え合い」・「思いやり」の息づくまちづくり
- 5 日々の暮らしの中で自然を敬い、次代に繋ぐまちづくり

- 6 南三陸町を舞台に多様な交流を通じて支え・高め合う人づくり・まちづくり

III まちづくりの目標

「II まちづくりの将来方向」のそれぞれについて、今後、町が基本構想案や基本計画案を立案する際に、配意する必要があると考えられるまちづくりの目標を、次のとおりとしました。

- 1 住民一人ひとりが共に汗を流し、協働の取り組みで創り上げるまちづくり
 - ① 誰もがまちづくりに参加できるまちを目指す。
 - ② 立場を越えた様々な対話が盛んなまちを目指す。
 - ③ 協働の理念のもと、住民と行政が暮らしの質の向上に共に取り組むまちを目指す。
 - ④ 目標に向って住民と行政が一緒に活動できるまちを目指す。
- 2 自らの暮らしの安心・安全を支える土台の整ったまちづくり
 - ① 他人の安心安全を考えられるまちを目指す。